

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2016年2月24日
一般財団法人 日本気象協会

2016年桜開花予想(第2回)

～桜前線は、福岡・高知・名古屋・東京で一斉にスタート～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：繩野 克彦、以下「日本気象協会」）は、2016年2月24日（水）に日本全国48地点の桜（ソメイヨシノ）の開花予想（第2回）を発表します。

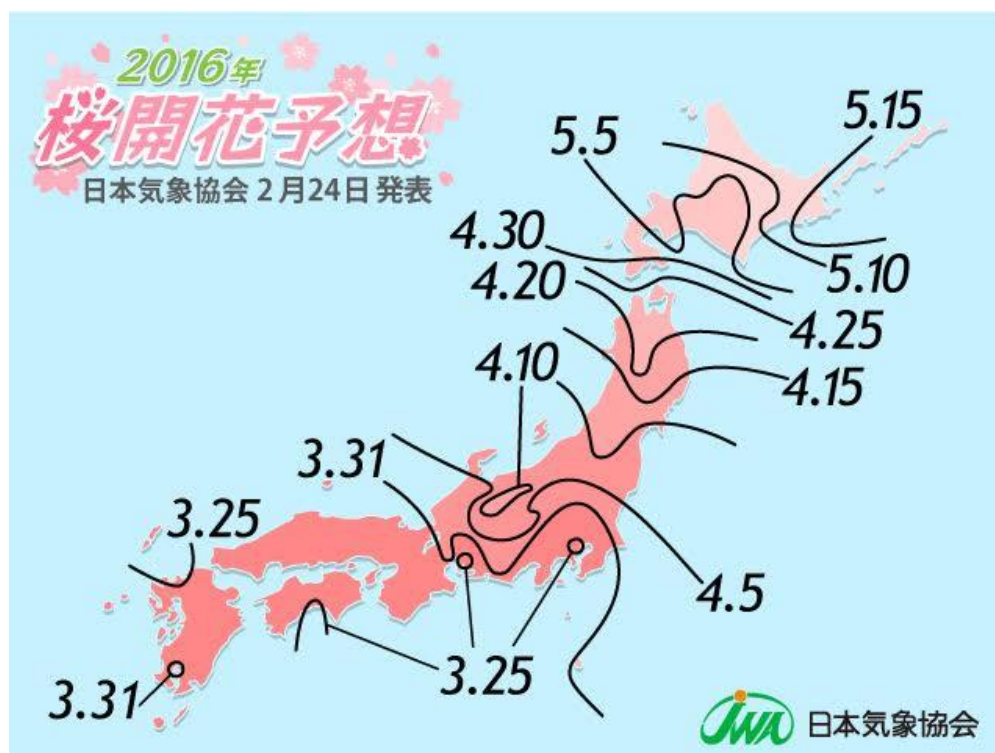
また、桜の開花予想が実施10年目となる今年は初の取り組みとして、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんだいさくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」（ねおだに うすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想も発表します。

開花予想は、JWA 公開 HP (<http://www.jwa.or.jp/>) や、天気予報専門サイト『tenki.jp』 (<http://www.tenki.jp/sakura/>) にて無料で公開しています。

(1) 概況

2016年の桜（ソメイヨシノ）は、九州では平年より遅い開花となる所が多いでしょう。四国・中国・近畿・東海・関東・北陸地方では、ほぼ平年並みの見込みです。東北地方では平年並みか平年より早いでしょう。北海道では平年並みの見込みです。

桜前線は3月25日頃に福岡、高知、名古屋、東京（千代田区）から一斉にスタートし、3月末には関東以西のほとんどのエリアに到達する見込みです。その後も順調に北上し、4月上旬には北陸・東北南部で開花するでしょう。桜前線が津軽海峡を渡るのは、4月末になる見込みです。



2016年 桜開花予想前線図

●日本気象協会 長期予報

気温	2月	3月	4月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	高い	平年並	平年並	2月の気温は、前回予想より高くなったため、関東以西で前回の予想開花日より1日程度早まる所が多くなっています。 3、4月の予想気温は前回と大きな変更はないでしょう。
東日本	高い	平年並か高い	平年並か高い	
西日本	平年並か高い	平年並	平年並	

(2) つぼみの準備も順調に進む

2016年2月は、13日に四国地方で、14日に関東と東海、北陸、中国地方で春一番が吹きました。最高気温は20度を超え、7月上旬並みの陽気となる地域もありました。

桜の開花は、前年の秋から開花日までの気温が影響します。晩秋から初冬に冷え込み、春先に暖かくなると開花が早くなります。昨年(2015年)の11月および12月は全国的に気温が高くなりましたが、今年の1月後半は、繰り返し強い寒気が流入し、厳しい冷え込みとなりました。2月は一転して暖かい日が続き、この先3月、4月の気温は各地とも平年並みか高めとなる見込みです。ただ、九州地方を中心に休眠打破(※)の遅れが影響し、開花は平年並みか遅いでしょう。

開花日は、福岡と高知、名古屋、東京(千代田区)で3月25日頃、大阪は3月28日頃、仙台は4月8日頃と予想されます。

※休眠打破…前年の夏に形成され休眠に入った花芽が冬になり、一定期間の低温にさらされて目覚めること。

(3) 桜開花予想のたより (リレートーク)

桜開花予想のたより リレートーク



仙台管区気象台の標本木(ソメイヨシノ)の様子です。(2月23日撮影)
仙台でもこの冬は暖冬傾向ですが、まだまだ、つぼみはかたようです。



日本気象協会
東北支局
気象予報士 福山 博己



福岡管区気象台の標本木(ソメイヨシノ)の様子です。(2月22日撮影)
まだつぼみはかたそうです。



日本気象協会
九州支社
気象予報士 松井 渉





別紙

●各地の桜（ソメイヨシノ）の2016年予想開花日の傾向（2016年2月24日発表）

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
九州地方	福岡県	福岡市	平年並	3月25日頃	3月23日	3月22日
	大分県	大分市	遅い	3月28日頃	3月24日	3月26日
	長崎県	長崎市	遅い	3月28日頃	3月24日	3月22日
	佐賀県	佐賀市	遅い	3月28日頃	3月24日	3月22日
	熊本県	熊本市	遅い	3月26日頃	3月23日	3月21日
	宮崎県	宮崎市	遅い	3月28日頃	3月24日	3月22日
	鹿児島県	鹿児島市	遅い	4月1日頃	3月26日	3月21日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
四国地方	香川県	高松市	平年並	3月29日頃	3月28日	3月24日
	徳島県	徳島市	平年並	3月29日頃	3月28日	3月28日
	愛媛県	松山市	平年並	3月27日頃	3月25日	3月27日
	高知県	高知市	遅い	3月25日頃	3月22日	3月22日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
中国地方	広島県	広島市	平年並	3月28日頃	3月27日	3月24日
	岡山県	岡山市	平年並	3月29日頃	3月29日	3月28日
	島根県	松江市	平年並	3月30日頃	3月31日	3月29日
	鳥取県	鳥取市	平年並	3月30日頃	3月31日	3月28日
	山口県	下関市	遅い	3月30日頃	3月27日	3月25日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
近畿地方	大阪府	大阪市	平年並	3月28日頃	3月28日	3月26日
	滋賀県	彦根市	平年並	3月31日頃	4月2日	3月31日
	京都府	京都市	平年並	3月28日頃	3月28日	3月27日
	兵庫県	神戸市	平年並	3月29日頃	3月28日	3月27日
	奈良県	奈良市	平年並	3月28日頃	3月29日	3月27日
	和歌山県	和歌山市	平年並	3月26日頃	3月26日	3月23日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
東海地方	愛知県	名古屋市	平年並	3月25日頃	3月26日	3月21日
	静岡県	静岡市	遅い	3月28日頃	3月25日	3月22日
	岐阜県	岐阜市	平年並	3月26日頃	3月26日	3月23日
	三重県	津市	平年並	3月31日頃	3月30日	3月29日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
関東甲信地方	東京都	千代田区	平年並	3月25日頃	3月26日	3月23日
	茨城県	水戸市	平年並	4月1日頃	4月2日	3月30日
	栃木県	宇都宮市	平年並	4月2日頃	4月1日	3月30日
	群馬県	前橋市	平年並	3月31日頃	3月31日	3月28日
	埼玉県	熊谷市	平年並	3月30日頃	3月29日	3月27日
	千葉県	銚子市	平年並	4月1日頃	3月31日	3月30日
	神奈川県	横浜市	平年並	3月27日頃	3月26日	3月23日
	山梨県	甲府市	平年並	3月28日頃	3月27日	3月25日
	長野県	長野市	早い	4月9日頃	4月13日	4月4日



	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
北陸地方	新潟県	新潟市	平年並	4月7日頃	4月9日	4月2日
	富山県	富山市	平年並	4月4日頃	4月5日	4月1日
	石川県	金沢市	平年並	4月3日頃	4月4日	3月31日
	福井県	福井市	平年並	4月1日頃	4月3日	3月31日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
東北地方	宮城県	仙台市	早い	4月8日頃	4月11日	4月3日
	青森県	青森市	平年並	4月23日頃	4月24日	4月14日
	秋田県	秋田市	平年並	4月16日頃	4月18日	4月11日
	岩手県	盛岡市	早い	4月18日頃	4月21日	4月9日
	山形県	山形市	平年並	4月13日頃	4月15日	4月10日
	福島県	福島市	平年並	4月7日頃	4月9日	4月2日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
北海道地方	北海道	札幌市	平年並	5月3日頃	5月3日	4月22日
	北海道	室蘭市	平年並	5月6日頃	5月6日	4月28日
	北海道	函館市	平年並	4月30日頃	4月30日	4月21日

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

- かなり早い：平年よりも7日以上早い
- 早い：平年よりも3日から6日早い
- 平年並：平年との差が2日以内
- 遅い：平年よりも3日から6日遅い
- かなり遅い：平年よりも7日以上遅い

●日本三大桜 開花予想

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年（開花日）	昨年（開花日）
三春滝桜	福島県	三春町	---	4月13日頃	---	4月4日
山高神代桜	山梨県	北杜市	---	3月30日頃	---	3月29日
根尾谷淡墨桜	岐阜県	本巣市	---	3月31日頃	---	4月3日

※日本三大桜は平年値なし

【日本三大桜について】

日本三大桜は、福島県三春町の「三春滝桜」（ベニシダレザクラ）、山梨県北杜市の「山高神代桜」（エドヒガンザクラ）、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」（エドヒガンザクラ）を指します。いずれの桜も、大正11年（1922年）に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

日本三大桜の開花にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供したいと考えております。

日本気象協会は企業メッセージ「ハーモナビリティ」の考えのもと、“お天気コンシェルジュ”として、日々の生活に役立つ気象情報や防災情報、四季の変化を楽しむ季節情報などを提供することで、利用者の生活を豊かにする新しい価値を届けていきます。



2016年 桜開花予想に関するよくあるご質問

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1：第1回は2月3日(水)、第2回は2月24日(水)、以降、3月から4月下旬まで毎週水曜日に発表します。2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

Q2：日本気象協会の開花予想の特徴は？

A2：各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

Q3：開花日・満開日の基準は？

A3：気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q4：予想する地点数は？

A4：2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点を対象としています。これらに今年から日本三大桜の3地点が加わります。

Q5：日本気象協会の桜開花予想の手法は？

A5：独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2015年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想、満開予想ともに3.0日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の気温が予想より高い状態が続き、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

Q6：開花予想に使うデータは？

A6：①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値（当協会ポイント予報および長期予報）を使用しています。

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽（はなめ）は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます（休眠打破）。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

Q7：長期予報の「北日本」「東日本」「西日本」の区分はどこ？

A7：気象庁が用いる範囲の通りです。北日本には北海道と東北地方、東日本には関東甲信・北陸・東海地方、西日本には近畿・中国・四国・九州北部地方・九州南部が含まれます。

Q8：開花予想はどこで見られる？

A8：JWA 公開 HP (<http://www.jwa.or.jp/>)、tenki.jp (<http://www.tenki.jp/sakura/>)、でご利用いただけます。tenki.jp では、開花（満開）の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

以上